

燧ヶ岳(柴安岳) 2356m (福島県)

山行報告 《大宮岳稜会》

報告者：眞鍋英樹

日時：令和7年（2025年）10月8日(水) 日帰り

【個人】メンバー：眞鍋(男) 1名

行程：御池登山口(WC)1508m 06:20→→(広沢田代1754m・熊沢田代1951m)→→
11:30 俎 岳2346m12:30→→13:05燧ヶ岳(柴安岳)2356m13:30→→俎岳→→
(熊沢田代・広沢田代)→→18:13御池登山
※YAMAPペース50～70%(ゆっくり) 各所で写真撮影並びに適宜休憩

装備：熊鈴、熊スプレー、チェーンスパイク、ストック、ヘッドランプ、防寒着、雨具、コンパス、
地図、水、昼食、行動食、スマホ+予備バッテリー

特記：WEBには載ってなかったが、夜間車両通行止有り・・・

御池⇄七入(キリンテや檜枝岐側)19:00～05:00

御池駐車場を18:50に出発。すぐに車を制止され、あと10分での上下線夜間通行止を告げられた。

御池は電波が極めて弱い(無い)ので、翌朝まで下山報告が届かず大騒ぎになるところだった。



燧ヶ岳山頂 柴安岳



俎岳

報告書＞感想：

今回はリベンジ登山。今年8月に山頂を諦め途中下山していた。2週間前に3000mの奥穂高岳2泊3日を頑張れたから大丈夫だろうと判断し、早速再挑戦。結果的には登れたが、計画のYAMAPペース80%も下回り、下山時間が大幅に遅れてしまった。「遭難捜索一時待機」相当の遅れ。ご心配お掛けしまして、誠に申し訳ございませんでした。

天気は重めの曇り。昨夜は雨だったようで、ところどころ濡れていた。しかし、ま〜よくコケた！分かってはいたが、斜めに傾いた濡れた木道でコケた。一瞬でコケた。赤土でも滑った。水溜りを跨いだが、想像より柔く足首までハマった。沢のガレ場直登では、ズルズルしながらも落石にならぬようそっと登った。笹の根っこむき出しの場所も慎重に越えた。木道より楽だった。そんなこんなで古傷ある左膝は踏ん張りが効かなくなり、大幅にスピードダウンした。

双峰とは分かっていたが、また下るのはもったいない。ガスガスを相手も見えない。YAMAPと赤いペンキを確認しながら高い方の山頂柴安岳を目指した。その間の鞍部の木道で、真横の笹がゴソゴソ。恐らく熊。私に気付き隠れ直そうと動いたようだ。山頂に着いたが展望はゼロ。尾瀬ヶ原の草紅葉も見れない。恐らく3000mまで上があれば雲海だろうが、登るすでがない。今日はこんな日だ。熊鈴は鳴らしているが、わざとらしい咳払いや奇声を上げながら、慎重に慎重に下った。

駐車場で気付いたが、ズボンの後ろポケットの下がシャケていた。同じ黒色のパンツでよかった。また、登山靴を脱ぐ際、靴底が剥がれた。下山後でよかった。今日はツキがないと思っていたが、山の神様に守られていたのかもしれない。



広沢田代



広沢田代ー熊沢田代間 紅葉



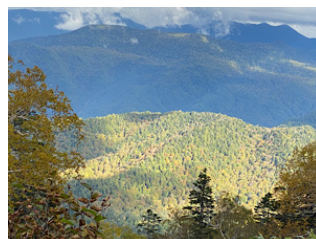
熊沢田代 全容 ピークの奥が広沢田代



ガレ場



紅葉



つかの間の日差し



熊沢田代 点在するナナカマド紅葉